

令和元年7月4日

令和元年度第1回アーバンデザインセミナー実績報告書

(1) 開催日時

令和元年6月29日(土) 10時30分～12時

参加人数：17名

(2) テーマ

スウェーデンに学ぶ 豊かなまちの使い方 ～草津をもっと豊かに使ってみよう！

(3) 話題提供者

村田明子(立命館大学工学部研究員)

(4) 話題の概要

- 村田氏に、スウェーデンの事例をご紹介頂きながら「豊かなまちの使い方」をテーマに話題提供頂いた。
- スウェーデンの暮らし
 - シンプルなライフスタイル
 - 屋外で過ごす時間を積極的に取り入れる
 - 季節の変化を大切にする
- スウェーデン概要
 - 高緯度に位置している
⇒日本との日照時間の違い(夏は長く、冬は短い)
 - 面積 日本約1.4倍
 - 人口 約1千万人
 - 人口密度 23.5人/km²
- 公園事例
 1. ブロムステルダーレン
 2. イェブレ 中央広場
 3. ユールゴーデン島

- スウェーデン人の屋外空間の使い方
休む、寝る、食べる、バーベキュー、日光浴、散歩、水遊び、マーケット、季節の行事、イベント、ベリー摘み、きのこ狩り、スケート、スキー
- 日本とスウェーデンの違い
 - 休日出勤や残業が少なく時間に余裕がある
 - 子育て制度の充実
⇒公園の利用率が高い
 - 父親の育児参加が当たり前でお父さんと子どもでの屋外空間の利用がみられる
 - まちを使う人が多様である
 - まちを作る人と使う人が同じ
 - 屋外空間に対する人々の意識の違い
⇒スウェーデンでは大人でも公園を利用する
 - 使う人が増えればよい空間が整備されるのではないかと期待する

(5) ワークショップ「草津をもっと豊かに使ってみよう！」

- 前半のレクチャーにヒントを得て、実際に草津の「どこで」「どんな風に過ごしたいか」を考えてみてもらうワークショップを行った。
- 実際のアイデア出しの前に、草津の美しい風景を画像で紹介し、どこの風景か当ててもらおうというクイズを行った。
- アイデア出しは、各自付箋にアイデアを書いてもらってシェアし、草津の白地図に貼っていった。
 - 前半のレクチャー内容を受けて、「ただ歩く」「のんびりおしゃべり」「ピクニック」「琵琶湖をながめる」「ポーっとする」など、特別なことをするというよりのんびりすることに価値を見出したアイデアが多く出た。
 - また、観光名所というよりも、身近な場所である「湖岸」「草津川跡地公園」「立命館大学」などに関するアイデアが複数出た。



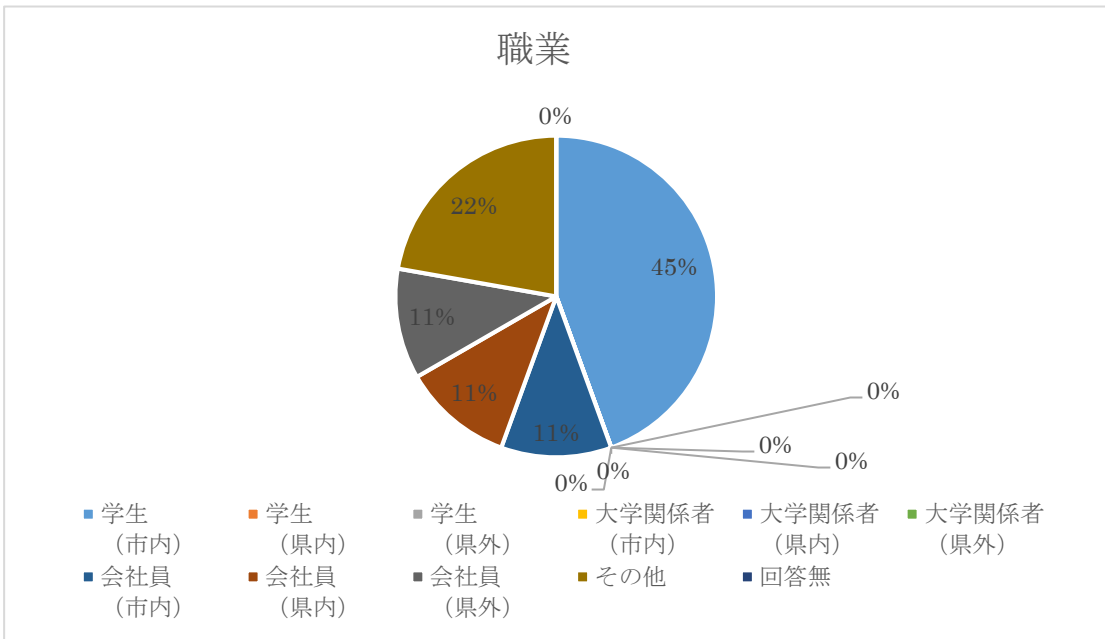
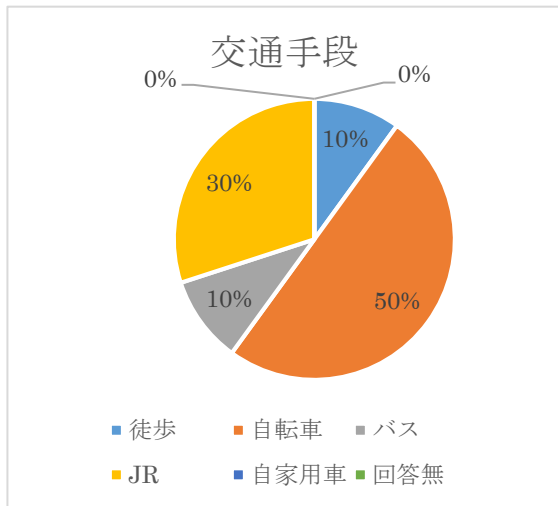
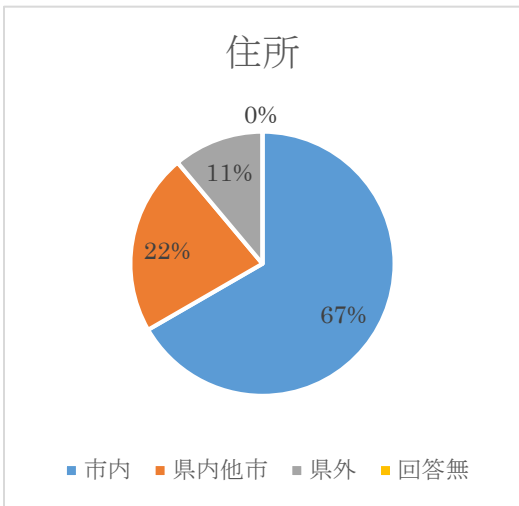
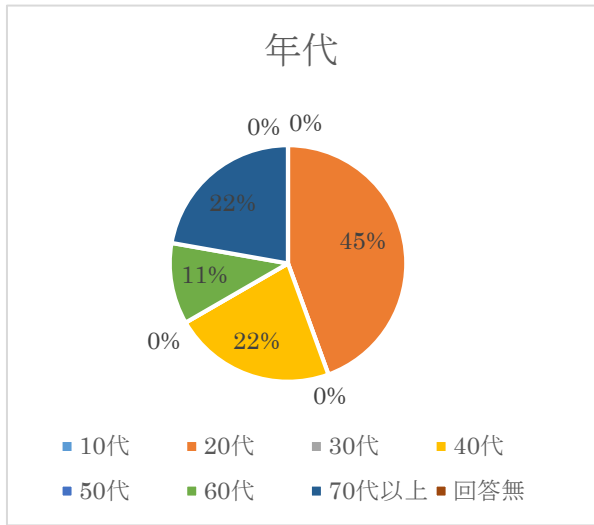
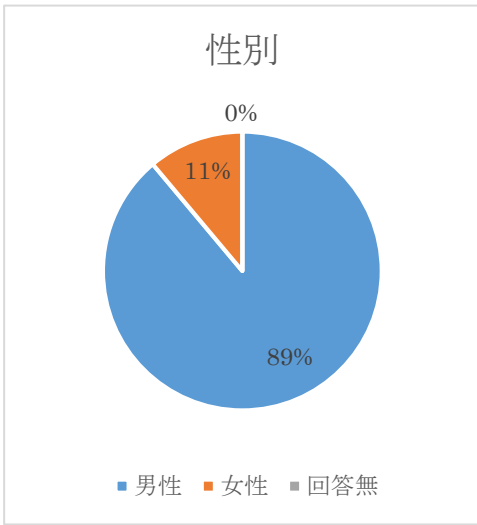
(6) まとめ

アーバンデザインセンターとして果たすべき機能の一つである「都市空間の有効活用」を促進するテーマに沿う内容のセミナーだった。忙しさに追われてゆっくり過ごす時間を失いがちな私たちにとって、スウェーデン人の屋外での過ごし方は大きなヒントを与えてくれた。各自が今回の学びを自分の生活で活かしていくことが期待される。

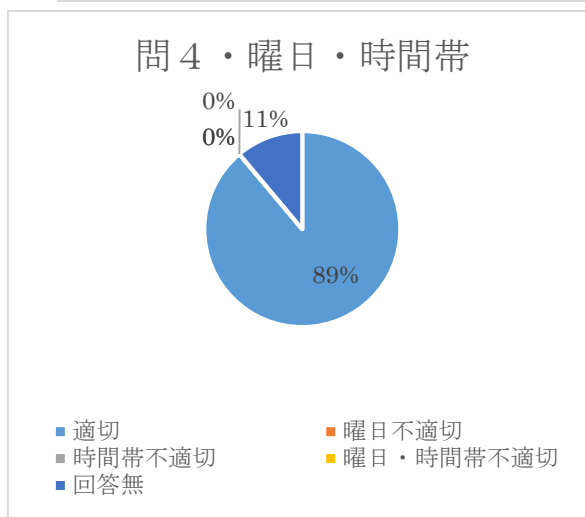
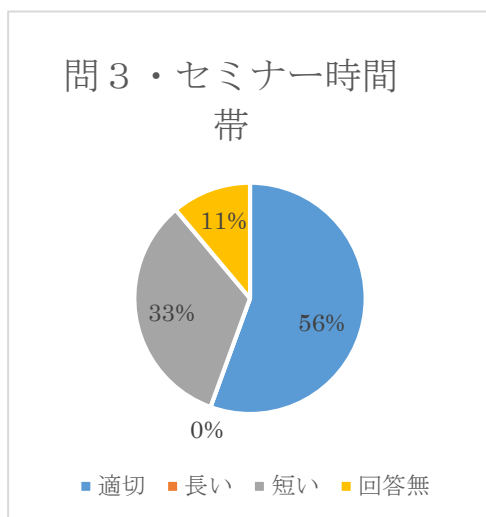
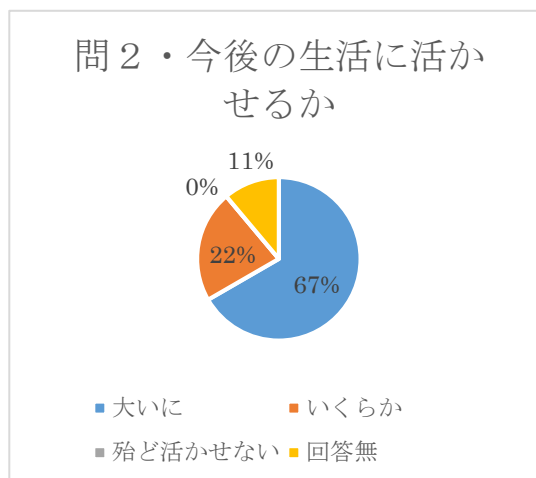
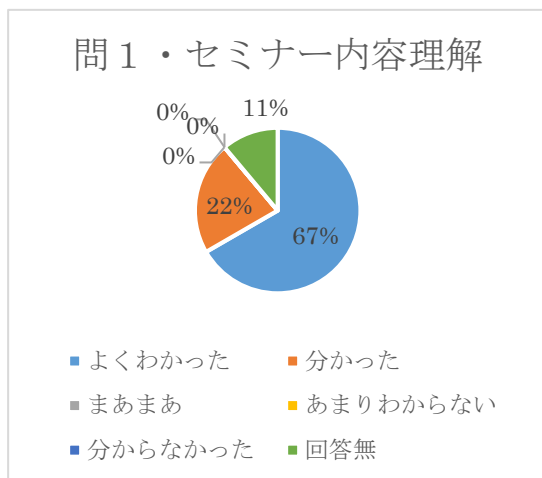
(7) アンケートまとめ

① 参加者属性

参加者17名のうち、アンケートに回答いただいた方は9名、回答率は53%だった。



② 内容について



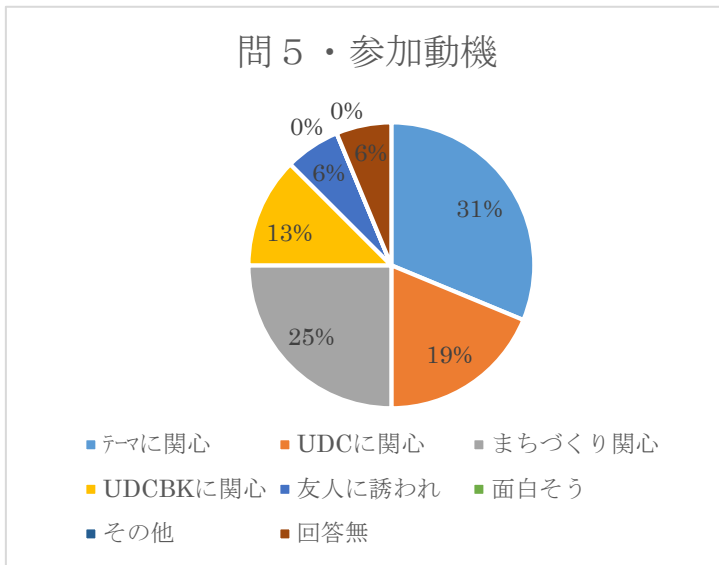
【自由記入欄回答】

問3. 時間はどうでしたか。

- ・ 2時間が適切 (60代男性)

問4. 開催曜日、開催時間は適切でしたか。

- ・ 無し



【自由記入欄回答】

問5. 今回参加した動機についてお聞かせください。それぞれに関心のあるテーマについて御自由に記載ください。

- ・市民がまちに愛着をもてるデザインさがし（40代男性）
- ・ランドスケープデザイン（20代女性）
- ・まちづくりを今一度しっかりと考えて、何か具体的に実践化したい(70代以上男性)
- ・まちづくり・地域協働（20代男性）

【自由記入欄回答】

問6. 今回、印象に残ったこととその理由をお聞かせください。

- ・スウェーデン人の生き方、生活の仕方に大変興味をもてた。ありがとうございました（70代以上男性）
- ・スウェーデンの生活を映した写真を見ることができてとても良い機会でした（20代女性）
- ・草津のいごちの良い空間やエリアを知ることができた（40代男性）
- ・大学時代から約5年間草津に住んでいますがその活動範囲は大学（立命）から南草津駅の周辺でした。今回参加してみて駅より北の琵琶湖側の魅力を地元の方から聞いたのはとてもよかったです。

ただ草津の魅力が詰まった北側の事を大学生等若い人は私のように知らない人が多いと思いますし、勿体ないと思います。子育て世代が増えていて公園など自然を求めている人も多いと思います。

利便性が高いという印象が強い草津の本当の魅力をいろいろな世代に発信していくためにも今回のような機会を増やしてほしいなと個人的に思いました（20代男性）